

第一回児童発達支援センター主催研修会を開催しました

令和 7 年5月13日(火) 15:30～17:00、泉佐野市立社会福祉センター2階大会議室にて、第一回児童発達支援センター主催研修を開催しました。市内の小中学校、障害児通所支援事業所、障害児相談支援事業所、幼稚園、こども園から、会場いっぱいの62名の参加がありました。

講師には、和歌山大学教育学部准教授の北岡大輔先生をお招きし、『発達障害のある子どもの不登校等二次障害への対応』の表題で講演していただきました。

講演の前半は、発達障害や障害特性の見方・捉え方について、二次障害や心身症とはどういった状態か、などの基礎的なことを押さえていただきました。後半には、不登校や過剰適応などの二次障害への対応について、「問題に対応すること、問題が起こらないように対策すること以上に、教育的な対応をすることが支援者の専門性である」という考え方のもと、こども自身が本当はどうしたいと思っているか、どのくらいならやれそうか、などを一緒に考え、こども自身が持っている主体性やニーズに合わせて作り上げていく「先回りの支援ではなく後出しの支援」の重要性について教えていただきました。

参加者からは、「こどもの問題行動の解決だけに目を向けるのではなく、その行動をすることどもに対する理解や根本的な解決、支援が必要だと学んだ。」「先回りしてすぐに答えを提示しようとしてしまいがちですが自己決定とそれにいたるプロセス思考が関係構築の上でも必要と思いました。」「こどもたち本人ではなく、周りの対応によってこどもたちが本当にしんどい状況になることが分かったので、日々のこどもたちとの触れ合いの中で自分が気づく視点をもっともっていきたいと思えました。」などの感想がありました。

こども一人一人を大切に、寄り添う視点とそのための支援方法について、具体的にお話をしていただけたことで、支援者それぞれが明日からどうこどもを支えていけばよいか、具体的なイメージをもつことができたのではないかと思います。

